



体力向上優秀実践校受賞
木倉小学校

町内小中学校で表彰

県から町内小中学校への表彰内容を紹介します。
木倉小学校は、県下小学校で1校選ばれる、体力向上優秀実践校に選ばれました。体力テストの結果の上昇や、学校と家庭が連携し、スポーツを楽しむ「スマイルフィットネスウィーク」などを実践したことが高く評価されました。河地浩太郎校長は「今後も連携を大切に、体と心の健康を継続していきたい」と話しました。

御船中学校吹奏楽部は、地域での演奏活動、震災後の演奏ボランティア活動が高く評価され、ボランティア・スピリット賞を受賞しました。引退した前部長の中川友貴美さん(中3)は「今後は、御船町だけではなく、熊本県内の人たちに元気を送りたい」と力強く語りました。

御船中学校の山本貴一先生は、吹奏楽部顧問としての指導力、震災後の演奏ボランティア等が高く評価され、優秀教職員表彰を受けました。山本先生は「震災後は、被災した地域の皆さんを元気にできればという思いで活動してきたが、今後は“共に”元気になる、笑顔になりたい」とさらなる地域貢献の意思を語りました。

七滝中央小学校の教職員組織は、「地域とともにある学校」、「地域活性化の核となる学校づくり」が高く評価され、優秀教職員組織表彰を受けました。大竹紳一郎校長は「これからも地域と連携し、統合してよかったと言われる学校を目指していきたい」と笑顔で話しました。



ボランティア・スピリット賞受賞
御船中吹奏楽部



優秀教職員表彰
山本 貴一先生(御船中)



優秀教職員組織表彰
七滝中央小学校 教職員組織

木倉小で教科体育研究発表会

11月29日、木倉小学校(河地浩太郎校長・125人)で教科体育研究発表会が開催されました。発表会では、県内の先生たちや地域の人たちなど多くの参加者の中で、『自らめあてを持ち、豊かに関わり合う「わかる・できる」楽しさを求めて』を研究主題に、児童たちが、生き生きとした体育学習に取り組みました。さらなる体育の意欲向上を図るために、運動にストーリー性を持たせたり、タブレットで動画撮影し、動きを追いかけ再生で確認したりして、児童が自ら課題を持ち、進んで運動に取り組む姿が見られました。



1_号令に合わせて元気に準備体操
2_自分たちの動きをタブレットの動画再生で確認



おじゃめを持ってみんなで「ハイチーズ!!」

おじゃめが韓国に

11月21日、韓国のテレビ局MBC(ファン・ビョン・フンディレクター)が伝承遊びの特集番組で御船おじゃめの会(増田みち子支部長)を訪ね、おじゃめを取材しました。おじゃめは、右手だけでなく、左手も右手同様に使います。そうすることで認知症などの予防・改善につながるという今注目を集めています。増田支部長は「失敗しても成功しても笑うことが大切。笑うことが健康につながる。韓国にも広がっていけば」と話しました。

第25回ふるさとふれあい木倉まつり

11月23日、木倉小学校体育館で「ふるさとふれあい木倉まつり」が開催されました。今年で25回目となる祭りには、約600人が来場し、会場は終日賑わいを見せました。各地域ごとによる歌や踊り、劇などの出し物のほか、若葉保育園がダンス、木倉小のPTA役員と先生たちが劇などをそれぞれ披露。木倉校区の社会福祉協議会主催のバナナのたたき売りでは、独特の口上を述べたあと、多くの人がバナナを買い求めました。最後はお楽しみ抽選会で締めくくられ、祭りは大盛況のうちに幕を閉じました。



1_かくし芸大賞に輝いた「南木倉のお地蔵さん」 2_会場を盛り上げた名司会! 3_木倉小職員とPTA役員の寸劇 4_トップバッターの若葉保育園の園児たち 5_会場を魅了したひよっこ踊り 6_各区代表のカラオケ 7_かくし芸特別賞の「シルバーファッション&マジック」

落合仮設でふれあいまつり

11月26日、落合仮設住宅(小林一英代表)で落合ふれあいまつりが開催されました。仮設住宅に入居して1年が経った今、何かみんなできなにかという思いで実施。この催しに賛同した熊本YMCAが主催、YMCA会員の熊本にしワイズメンズクラブや天草の漁師の有志などが協力。参加者は、鶏のもも肉焼きや獲れたての魚を刺身にして食べ、お互いに交流し、仮設での1年を振り返りました。参加した星永昂輝さん(小5)は「交流することでつながりが強くなる。もっと交流したい」と話しました。



みんなで食べて飲んで元気に!